

特定小電力無線モデム GTR-920F (920MHz 帯×20mW 特定小電力無線局)

■特徴

ジオテクサービス株式会社 2019/02/21



無線モデム本体 通信+電源・通信ケーブル アンテナ

- 従来の「420MHz 帯特定小電力無線」の後継の 920MHz 帯の省電力型のデータ伝送用無線装置です。
- 従来無線機(10mW)より高出力の 20mW の発信が可能で、見通し 1200m の通信と、最大 2 段の中継が可能です。
- 12V 電源で動作し、消費電流も 4~30mA と少ないので、ソーラ電源とバッテリーを利用した野外計測に適します。
- 通信インタフェースは、RS-232C と RS-485 の 2 通りが選択でき、PC や各種データロガーと接続できます。
- 無線周波数は 4 波、アドレスは 1~239 番まで設定可能。簡単なコマンドで操作できソフト開発も容易です。
- 利用に際しては免許申請や電波利用料金は不要です。

■仕様

型式	920MHz 帯 特定小電力無線モデム GTR-920F (無線 技術基準 ARIB STD-T108)				
 接続例：パソコン直結 USB-シリアル変換+RS-232C	 ジオテク製品 RS-485 直結	 村サテックス製ロガー RS-232C+NetGW1	 東京測器研究所 ロガー RS-232C+電源起動ケーブル	 測商技研製ロガー RS-485 直結	
周波数帯	920.6~928.0MHz×37 波(200kHz 間隔)中の 4 波をディップスイッチで選択 24CH:920.6MHz 36CH:923.0MHz 48CH:925.4MHz 60:927.8MHz				
送信出力	20mW (参考:従来の 420MHz 帯特定小電力無線は出力 10mW)				
通信距離	見通し 1200m、郊外 500m、市街地 200m				
中継機能	最大 2 段中継 (親→中継1→中継2→子) 子局と中継局を兼用できます。				
無線通信速度	無線部分 50kbps⇒実効通信速度 4800bps。(最大送信パケット長 4095 バイトの送信に約 6 秒)				
通信インタフェース	RS-232C 又は RS-485 を内部ディップスイッチで選択。通信条件 9600bps (N81XN) 固定				
無線呼出し ID 設定	1~239 番設定可能。設定は RS-232C 又は RS-485 から書き込み。				
電源・消費電流	9~15V(最低電圧 7.7V)、待機時:4mA、連続待受時:14mA、送信時:30mA(12.8V 時) (無通信状態が 30 秒続くと待機モードに移行。子機は着信後、待機から通信開始まで 2 秒ほど掛かる)				
動作温度範囲	-20℃~60℃ (屋外、降雨環境での使用可能)				
外形寸法、重量	W100×H100×D40mm、アンテナ長約 200mm、本体重量 200g、通信ケーブル 1.8m=130g。				
価格	本体価格 ¥96,000 円(税別)				ディップスイッチ設定 RS-232C 接続ボックス
オプション製品	・単管用取り付け金具(接着式)¥3,000 円(税別) ・単管用取り付け金具(クランプ式)¥8,000 円(税別) 【RS-232C 接続オプション】 ・R-232C 接続ボックス ¥7,000 円(税別) ・ロガー起動ケーブル-端子台式(DCN 他): ¥7,000 (税別) ・ロガー電源付き起動ケーブル(TC-35N 用): ¥36,000 (税別)				

